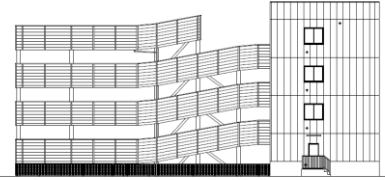


CASBEE® 名古屋

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築版(改訂2016年版、名古屋建築環境総合性能評価システム2016) | 使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	トヨタL&F中部株式会社 白金オフィス立体駐車場新築工事	階数	地上3F
建設地	愛知県名古屋市中区東区江三丁目 604-2,604-4,605-1,605-2,605-3,605-4,605-5,605-6, 605-7,606-1,607,608-1,612-1,612-2,612-3,613	構造	S造
用途地域	工業地域、準防火地域	平均居住人員	380 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年02月 予定	評価の実施日	2020年06月01日
敷地面積	2,859 m ²	作成者	
建築面積	1,281 m ²	確認日	2020年06月15日
延床面積	3,877 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

= BEE0.6 ★★☆☆☆☆

★:☆☆☆☆☆ A:☆☆☆☆☆ B+:☆☆☆☆ B:☆☆ C

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆:☆☆ 100%超:☆☆ 100%:☆☆☆ 80%:☆☆☆☆ 60%:30%

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+オフサイト手法

0 46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.6

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。	特になし。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
特になし。	0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3。	特になし。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
省エネ計算対象外のためBPI _m =0.0。	LGS使用している。 発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。	特になし。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される




重点項目スコア・結果シート

トヨタL&F中部株式会社 白金オフィス立体駐車場新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル
 ■評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する重み係数	重点項目スコア
1. 温暖化対策				3.7
LR1	エネルギー	4.0	0.4	/
LR3.1	地球温暖化への配慮	0.0	0	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.075	
2. 自然共生				1.3
Q3.1	生物環境の保全と創出	1.0	0.171428571	/
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.017142857	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.085714286	
3. 循環型社会				2.5
LR2.1	水資源保護	2.2	0.06	/
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	2.6	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.3	0.028125	

結果

1. 温暖化対策	評価点 = 3.7	
2. 自然共生	評価点 = 1.3	
3. 循環型社会	評価点 = 2.5	

重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。